

お気に入りの本を楽しく紹介しよう

子ども司書だより

11月26日
第6回



11月26日(日) 図書館本館にて、子ども司書養成講座第6回「本の楽しさを伝えよう」を開講。
前半の講座では、司書の仕事のひとつである「選書」について学んだ。出版されている本の中から、図書館に所蔵する本を選ぶ「選書」は、図書館の仕事の中でも特に専門的な知識や経験が必要とする。ニュースや新聞を見て情報収集したり、様々な経験を見て情報収集を広げたりしながら、芦屋の図書館にはどんな本が必要かという視点で「選書」をすることが大切であるという説明があった。

後半は、本の楽しさを伝えるポップづくりを行った。画用紙や色鉛筆を使い、受講生が持参したお気に入りの本の良かったところ、楽しかったところなどを書き、本の魅力を紹介する。デザインがなかなか決まらず、長い時間悩んだり、素早い手つきで作業を進めたり：受講生によって取り組み方はさまざま。作業後半になると、感動する本について紹介するポップは「涙のしずく」の形、猫が出てくる物語を紹介するポップは「猫」の形など、ユニークなポップができて上がった。講座の最後は、受講生たちの様々な工夫やこだわりが詰め込まれていた。
全7回の講座もラストスパートに入り、受講生たちの子ども司書への心構えもより高まった。
今回の講座で作成されたポップは、子ども司書養成講座全7回終了後、図書館本館にて展示した。